

とりかえっこ 何でも見たい、何でもしてみたい!

ちびぞう

『とりかえっこちびぞう』
作/工藤直子
絵/広瀬 弦 (Gakken刊)より

脚色/吉田篤司
演出/塩沢久美
美術/宮武史郎
音楽/大野栄潤
振付/服部哲郎

ちびぞうは何でも見てみたい、何でもしてみたい元気なぞうの子どもです。今日も〈なにか〉をしに、さんぼに出かけます。

さんぼの途中でライオンに出会ったちびぞうは、自分の耳とライオンのたてがみをとりにかえっこして、「らいぞう」になります。すると今度は…。

子どもはいつも、〈なにか〉をするのが大好きです。〈なにか〉をしていないと、つまらなくて仕方ありません。〈なにか〉をさがしに外の世界に出かけるちびぞうの姿と、それをおおらかに見守るかあさんや周りのおとなたちの姿を描きます。

アンケートより

色々な動物が出てきて、それぞれの動物の耳や鼻などのパーツが取れて交換するところが子どもたちにとってとても面白かったようで、手を叩いて笑ったり「次は誰と交換するんだろう?」と楽しみにする姿もあり、一人ひとりがよく楽しめていたと思います。



かんたが出会った
ヘンテコ3人組との
不思議な時間

めっくら もっくら どおん どん

『めっくらもっくら どおん どん』
作/長谷川摂子
画/ふりやなな (福音館書店刊)より

脚色・演出/大野正雄
美術/工房太郎
音楽/西尾 賢

かんたが、お宮にある大きな木の根っこの穴から落ちて訪れた国は、何ともへんてこな世界でした。

そこの住人“もんもんびゃっこ”“しっかかもっか”“おたからまんちん”と、かんたは仲良しになり、時の経つのを忘れて遊び回ります。けれどもすでに夜。遊び疲れてねむった3人のそばで、心細くなったかんたが「おかあさん」と叫ぶと……。

思いっきり元気に遊ぶ経験は、子どもたちがおとなになるための大切な栄養です。かんたが出会うハチャメチャな友達たちの遊びと、人形劇ならではの表現を思いっきり楽しんでご覧ください。

アンケートより

最初は少し怖がっている子もいましたが、男の子と神様が仲良く遊ぶ姿に「楽しそう!」と興味津々になっていました。「ピヨヨーンって遊んでるのおもしろかったね!」「ピンクの髪の子かわかった!」と部屋に帰ってから子ども同士でお話していました。人間と神様の種族を越えた友情に子ども達の夢もふくらんだように思います。

